

統廃合の影響は

町 刺激を受け競争意識が高まった

問 小中学校の統廃合のもたらす影響について、

学力並びに教育環境の変化等によろしく影響したか。

教育長

特に拠点校へ移動する子どもたちについては、大変気になって、校長、PTA会長、保護者にも聞いて

確認している。

その結果、子どもたちにとって学校の統合が間違っていたという話はない。むしろ生活面で仲間が増えて学校へ行くのが楽しいと言っている。

また、スポーツ少年団、

部活動に付きましては、田中・黒田原フレンズのように統合することによって部員が増えて大会に出場するだけでなく、全国大会で優勝し、活躍できた子どもたちもいるのも事実である。

小中一貫校としての取り組みは

町 小中連携ではしっかり取り組んでいる

問 小中一貫校としての力リキュラムの変更等の対応はできないか。

那須塩原市では、9年間を4・3・2製の指導区分として、中1ギャップ、10

歳の壁に対応している。勉強のスピードと量が格段に変わってくる。

また、環境においては、先輩、後輩という人間関係、内面的な成長に対するパランスを欠くなどあげられる。

小中一貫校として町の今後の取り組みは。

教育長 今まで、町で小中

一貫について、全く考えていなかったわけではない。

中学校区において義務教育9年間をしっかりと見据えてきた。

学習指導、児童生徒指導、健康安全指導等それぞれの目標を立て、小中学校の児童生徒の交流とか小学生同士との交流、中学生同士の交流など那須町の小中連携では、他の自治体に負けないぐらいの成果、取り組みをしている。



27.8.12

田中・黒田原フレンズ全日本小学生女子ソフトボール大会優勝報告